

ネットワーク整備計画（１）

１．必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

- ・ 県立学校（県立中学校、県立特別支援学校小中学部） 全17校
 - ・ 必要なネットワーク速度が確保されている学校数 4 校
- ※R5年11月文科省「校内通信ネットワーク環境整備に関する調査結果」
- ・ 必要なネットワーク速度が確保できている学校の割合 23.5％

２．必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（１）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

- ・ 全校でネットワークアセスメント（教育委員会主導）を実施済み。

（２）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

- ・ 令和７年度は、一部の学校でネットワークアセスメント（事業者委託）を行い、ボトルネックとなるネットワーク機器等の改善策を実施し、令和9年3月末までに完了させる。
なお、課題が回線速度である場合は、ローカルブレイクアウト回線への切り替え等を検討する。

（３）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合の、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

- ・ 上記２．（２）のとおり。

ネットワーク整備計画（２） ～ 大分県学校教育情報化推進計画「教育DX推進プラン2025」より ～

1. 教育ネットワークの最適化

- ・ 安定的で利便性の高いネットワークの構築
- ・ 大分県教育ネットワークを最適化し、安定した接続環境を確保
- ・ ゼロトラストセキュリティモデルの導入を検討

【参考：教育DXに係る当面のKPI（文部科学省）】

2. 校内Wi-Fi環境の整備 ～課題のある学校へのネットワークアセスメントの実施～

- ・ 学校内外のネットワーク環境の強化（必要なネットワーク速度の確保）
- ・ すべての教科でICTを活用できるよう、校内のどこでもネットワークが利用できる環境を整備
- ・ 社会教育施設等でのWi-Fi環境を整備し、学校・家庭以外でも学習が可能な環境を提供
- ・ Wi-Fi整備率は向上しているが、接続可能時間の制限や通信速度の課題が残るため、継続的な改善が必要

3. GIGAスクール構想対応

- ・ 端末とネットワークの整備
- ・ 1人1台端末環境の維持・更新
- ・ 授業用クラウドの利用促進に向けたネットワーク環境の強化
- ・ 授業の時間帯における通信トラフィックを95%以内で運用（目標：超過日数を年間7日以内）

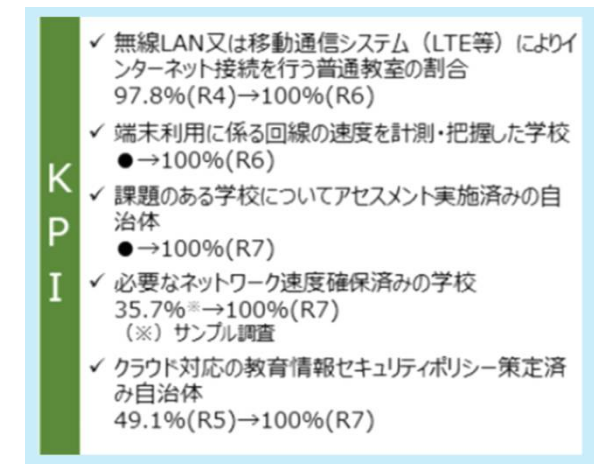
4. セキュリティ対策

情報セキュリティ強化

「大分県学校情報セキュリティポリシー」を適宜改訂し、安全なICT環境を構築
外部からの脅威対策を強化し、個人情報保護を徹底

5. 校務支援・ICT基盤の拡充

クラウド環境の活用校務支援システムの運用を進め、市町村と連携した業務効率化を推進
ICT機器やクラウド環境を活用し、学校組織のDXを推進



【参考：「教育DX推進プラン2025」目標指標より（大分県教育委員会）】

指標名	基準値 R5 (実績値)	目標値 R9
タブレット端末専用のネットワークについて、授業の時間帯における通信トラフィックの数値95%以内で運用する日数(日)	1	7日以内
クラウド対応の教育情報セキュリティポリシー策定済み自治体の割合(%)	52.6%	100%